

信州からの年賀状

臨月正月夢も時は美しい

知らないことばかり煙り

初恋も宇宙の果ても不知しじ

秘密は裸より奥ゆかしく

(だから人生は楽しい)

ものくさ太郎は歴史で旅する

トンネルではなく峠は馬の鈴音

信州しなのの一軒家にマスク

ひっくり返せ有名は不便ゆえ



すきもの

好色平仲は硯の水で瞳をぬらし

まぶた

涙するほど恋しいと夜這けり

よばひ

やしや

夜叉はゆつくり墨をする元旦

鏡には映らないことばかりで

毛筆は水を切る小指の音

あした

あの人は明日もそこに

あかし

音譜にきざむ生きる証を

ギリシヤのアルカディア

まくらの上

枕上で地球儀を廻す祈り